北海道大学定期戦

武田　優

六月二十八日に北海道大学との定期戦が開催されました。この定期戦は七大戦の前哨戦となる大事な試合でした。

春季、地区大が終わってすぐの日程ということもあり、疲れのピークが重なって、僕は手首を痛めてしまい（後に疲労骨折と診断）、シングルスのレギュラーから外れてしまいました。そのため、ダブルスはなんとしても勝利して、チームに貢献したいと思って臨んだ定期戦でした。

それでは団体戦の結果と内容を報告していきたいと思います。

１Ｄ　杉本・大藤　対　松原・山本

１セット目からシーソーゲームでどっちが流れを掴むこともなく、お互いに探り探りで淡々と試合が進んでいった。１セット目は２２点で取った。２セット目は１８点で取られるものの、３セット目は１６点で取り、見事勝利。幸先のいいスタートを切れました。後半は杉本さんが、後衛で試合を作り、大藤が前衛でのびのびプレーできていたので安心して見ていられました。

２Ｄ　菅野・武田　対　及川・木下

１セット目は、調子の上がらない相手を尻目に終始攻め続け１６点で取り、いけると思っていたら2セット目は、点差が開かず、１９点で取られてしまう。このとき、手首に違和感があったこともあり、無理せず相手の陣形を崩して、確実なところで決めていこうと真と確認する。思ったとおりに、及川を後衛でふり回し、甘くなった返球に対して打っていくことができ、１６点で勝利。決して無理せず、戦況を見極めてプレースタイルを変えることができたことは成長した点だと思いました。

３Ｄ　小野寺・阿部　対　金澤・村岡

息のあったこのペアをとめることは金澤・村岡ペアには難しかったようでした。安定感のある、功介さんのサーブもあって、セットの前半からリードを続ける展開で、危なげなく１７、１８点の２―０で勝利。流石です。

というわけで、３―０でシングルス突入という最高の形で折り返しました。

１Ｓ　杉本　対　松原

両エースの対決でした。ラリーが長く、どちらが勝ってもおかしくありませんでした。１セット目、２セット目は流れを呼び込んだ方の一方的な展開となり１６点で取られ、１１点で取りファイナル。ファイナルは惜しくも１９点で取られてしまいました。本当に惜しかった。

２Ｓ　小野寺　対　村岡

１セット目は元気のいい村岡がガンガン攻めて１５点で取られるも、そこは賢さん。２セット目からは「賢ワールド」が開催され、村岡の足はタジタジ（途中で足攣ってたな）。１３、１８点で取り返し勝利。村岡の足と心には「賢ワールド」の恐ろしさが今も刻まれているであろう（笑）

３Ｓ　相川　対　山下

１セット目は１８点で取られるも、調子が戻って１７点で取り返し、ファイナル。寸止め相川はあしが全く動かなくなり、撃沈。１１点で取られてしまう。コラーに

４Ｓ　大藤　対　山本

１セット目は２０点で取るが、「シングルは負けられない」と山さんの底力を見せつけられ１３、１８点で惜しくも負けてしまう。大藤も惜しかったけどな、もうちょっとダッシュ頑張ろう。

５Ｓ　白井　対　金澤

プレースタイルが似ていたので、ラリーが長かったです。１セット目は１４点で取り、２セット目は１９点で惜しくも取られてファイナル。金澤さんの足が限界となり、途中棄権という形で白井さんの勝利。

６Ｓ　野崎　対　木下

ガチ輔、１セットは序盤からリードされ苦しい展開で１２点で取られる。木Ｐさんも同様にガチだったようで１１点で洋輔が取ってこれはいけると思っていたら、最終的には１９点で負けました。ガチガチでも攻める気持ちを忘れちゃダメですよ。

結果５－４で北大に勝利することができました。７試合のうち６試合がファイナルまでもつれ込んだ試合となり、白熱した定期戦だったおもいます。来年は七大でも勝てるように、油断せずにそして、自分は怪我せずに２００９年も頑張りたいと思います。